

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

審査員特別賞

Special Jury Prize

特定非営利活動法人 **HEROES** (京都府京都市)

受賞理由 ノウフク地ビール

全国の福祉事業所と連携して原料を調達し、醸造からラベル貼り、出荷まで障害者が携わる農福連携地ビールの生産プロジェクトは、ノウフクの将来に向かって新たな分野を切り拓いていく取り組みです。



概要 グレートビアアワードで銀賞

2014年1月に生活介護事業所を開きました。重度の障害のある方に仕事を提供するために、17年に酒類製造免許を取得。クラフトビールの醸造と販売をはじめました。ビールの原料は輸入が一般的ですが、完全国産化の「100%ノウフク連携ビール」を目標にしています。

主に自閉症などの知的障害者18人で製造、販売を行っており、うち1人は工程すべてに関わる醸造家レベルの腕です。京都市内を中心に取扱店が50か所超あり、19年度グレートビアアワードでは、銀賞1つ、銅賞2つ、20年インターナショナルビアカップで銅賞1つを受賞しました。



成果 地域課題に協働して取り組む

<農林水産業>

・群馬県で栽培している麦は、当初10㍓だった作付けが2020年度は1㍓に増えました。京都府亀岡市でも栽培がはじまり、同県福知山市で栽培が検討されるなど、休耕地活用に関心が集まっています。

<障害者等>

・6次産業化で生産、加工、販売のそれぞれの部門で作業工程が増え、工賃が向上しています。自分の作業が、

前後とどのようにつながっているか可視化することで、やりがいや自信を生み出しています。

<地域>

・地域にある課題解決に向けて協働し、交流が活発化しています。福祉には、障害者の自立や仕事づくり、農業には、耕作放棄地や人手不足などの問題があります。自治会を再構築し、共生社会を標榜します。

ノウフク